

豊田市企業版ふるさと納税

企業 × 行政

豊田市はともにミライを拓く
パートナーを募集しています



こころざしをカタチにする。

企業版ふるさと納税

つながる つくる 暮らし楽しむまち



豊田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

豊田市 企業版ふるさと納税に関するご提案

こころざしを カタチにする。

企業版ふるさと納税

とは…

豊田市の事業に対しご寄附をいただくことで、取組の充実や、企業様と豊田市の新たな関係構築につなげる制度です。

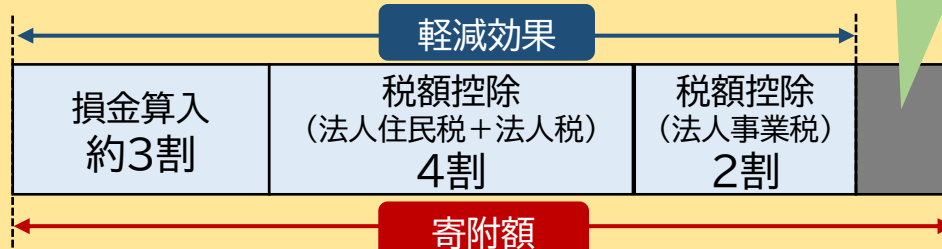
企業のメリット

地方創生への貢献
(CSRの向上)

企業名のPR
(市ホームページでの企業名公表など)

税制優遇

最大税額9割軽減で、企業の実質負担は約1割！



税制優遇を受けながら、社会貢献につなげられます！

(注)豊田市内に本社(主たる事務所又は事業所)が所在する場合は本制度の対象外です。

※令和7年5月時点

令和9年度末
まで(予定)※



豊田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

企業版ふるさと納税制度に関するお問い合わせ

魅力創造部
シティプロモーション課

TEL : 0565-34-6758
MAIL : furusato@city.toyota.aichi.jp



企業版ふるさと納税によるベネフィット

豊田市では寄附額に応じて、以下のとおり御礼をいたします。

寄附による社会貢献を通じて、御社のイメージアップや認知度向上にご活用ください。

寄附額(1回あたり)	ベネフィットの内容
10万円から 100万円未満	●豊田市ホームページへの企業情報(企業名・企業ロゴ・企業HPリンク・コメント)の掲載 ※掲載期間は寄附受領時からとし、寄附年度の翌年度から起算して5か年度
100万円以上	●企業版ふるさと納税に関する豊田市長からの感謝状贈呈式・関係企業交流会へのご招待 ※年1回、例年11月ごろ開催 ●豊田市ホームページへの企業情報(企業名・企業ロゴ・企業HPリンク・コメント)の掲載 ※掲載期間は寄附受領時からとし、寄附年度の翌年度から起算して5か年度

【注意事項】

※ベネフィットは、ご希望の企業様に対して実施するものであり、必ずお受けいただく必要はございません。

※ベネフィットの内容は、事情により予告なく変更する場合がございます。

※ご寄附いただく事業によっては、個別のベネフィットをご用意している場合がございます。詳しくは各事業の担当者へお問い合わせください。

※300万円以上のご寄附の場合、上記ベネフィットに加えて、豊田市表彰条例による表彰の推薦対象となります。

※1,000万円以上のご寄附の場合、上記ベネフィット及び豊田市表彰条例による表彰に加えて、褒章条例に定める紺綬褒章の推薦対象となります。

※市表彰及び紺綬褒章については、別途審査があるため、授与を確約するものではありません。

つながる つくる 暮らし楽しむまち



豊田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



企業版ふるさと納税制度に関するお問い合わせ

魅力創造部
シティプロモーション課

TEL : 0565-34-6758
MAIL : furusato@city.toyota.aichi.jp



イチオシ PICK UP	FIA世界ラリー選手権(WRC)をいかした地域まちづくり事業	…4
	150年続いた中学校部活動の大改革 とよた地域クラブ活動推進事業	…5
こども・教育 ・スポーツ	新規掲載 豊田スタジアムの魅力向上事業	…6
	トップスポーツチームと連携した地域まちづくり事業	…7
	地域スポーツクラブによる地域スポーツ推進事業	…8
	生き抜く力を育む学校教育の推進	…9
地域活性化・ 産業振興	新規掲載 若者・子育て世代向けシティプロモーション事業 「とよた推し」拡大プロジェクト	…10
	ものづくり創造拠点SENTANから生みだすオープンイノベーションとスタートアップ	…11
	豊田おいでんまつり開催事業	…12
脱炭素・環境	J-クレジット新規方法論の実現に向けたAWD(間断かんがい)実証事業	…13
	脱炭素プロジェクト	…14
	森を未来につなぐプロジェクト	…15
山村振興	大臣表彰受賞 里モビLIFEプロジェクト	…16
	新規掲載 山里ひとなる塾事業	…17
	都市と山村の共生推進事業	…18
	香嵐渓100年プロジェクト事業	…19
	「旭高原元気村」施設再整備事業	…20
地域共生・福祉	新規掲載 とよた地域共生ミライフフォーラム2026開催事業	…21
	おいでんバス乗り放題!「おでかけパス70」推進事業	…22
	障がい理解と意思疎通の推進事業	…23
	多様な方の社会参加を応援するプロジェクト	…24
歴史・文化	歴史文化資源をリブランディング! 豊田市の魅力を活かした新たな観光コンテンツ創出事業	…25
	100年に1度の大修理で甦る!!重要文化財旧鈴木家住宅復活プロジェクト	…26
共働・市民活動	共働によるまちづくり! 市民活動促進事業	…27

イチオン
PICK
UP

FIA世界ラリー選手権(WRC)をいかした 地域まちづくり事業

地域資源の価値を高め、「ラリーのまち」豊田市をつくる

事業背景・目的・目標

2022年に12年ぶりに日本で開催されたWRCは多くの来訪者と注目を集めてきました。2027年以降も日本での継続開催を見据え、引き続き、主催者として安全安心で魅力ある大会運営に努めていきます。また、「ラリーのまち」としてのシティブランドのさらなる確立を図り、豊田市のまちづくりにいかします。

主な取組内容

- (1)関係者と共に豊田市が競技主催者となり、「FIA世界ラリー選手権 日本大会(WRC)」を開催します。
- (2)ラリーをいかして、「山村振興」、「交通安全の推進」、「産業の振興」を図ります。
- (3)モータースポーツで鍛えられた車両の安全性や環境技術が市販車へ反映されることで、クルマの魅力向上へとつなげていきます。

【事業担当者コメント】

WRCは、FIA(国際自動車連盟)が主催している世界耐久選手権(WEC)、フォーミュラー1世界選手権(F1)と並ぶ3大モータースポーツのひとつで、50年の歴史を誇るラリー最高峰の大会です。5年連続で愛知・岐阜での開催となる本大会では、名古屋でのセレモニー開幕や新ステージ追加により、「体感するラリー」をさらに進化させ、地域のにぎわい創出を図ります。今後も豊田市での継続開催を目指し、「ラリーのまち」として構築されれば、非常に価値の高い地域資源となります。一緒にラリーに深く関わって頂ける方のご支援をお待ちしています。

関連するSDGsゴール



ラリージャパン2025より

本事業に関するお問い合わせ

魅力創造部
ラリーまちづくり推進課
(担当:日比野・川合)

TEL : 0565-34-6950
MAIL : rally@city.toyota.aichi.jp

イチオン
PICK
UP150年続いた中学校部活動の大改革
とよた地域クラブ活動推進事業

関連するSDGsゴール



「こどもファースト」で、学び・体験・つながりの機会をつくる

事業背景・目的・目標

部活動の地域展開は、少子化や教員の働き方改革が進む中での、こどもの将来にわたるスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保を目的に、全国で進められている取組です。

豊田市は「こどもファースト」を基本方針とし、全国に先駆け、令和8年9月に平日を含めた全中学校部活動を、地域の大人が携わる「とよた地域クラブ活動」に移行します。

主な取組内容

- (1) クラブを安定して運営することで、こどもたちの機会確保に取り組みます。
- (2) こどもたちが希望する種目を新設することで、機会創出に取り組みます。
- (3) 指導者への研修などを通じて、こどもたちの安全・安心の確保に取り組みます。



弓道部の大会の様子

【事業担当者コメント】

とよた地域クラブ活動推進事業で目指す、地域ぐるみによる新たなスポーツ・文化芸術活動の環境づくりは、こどもの貴重な学びや体験機会を確保するだけではなく、希薄になりつつある地域での大人とこどものつながりを生み出します。豊田市では、これをチャンスと捉え、活動を通じて地域内循環を促進し、こどもの成長や、地域の持続的な発展に繋げていきたいと考えています。

部活用品など備品等の寄付も大歓迎です。こどもの笑顔と一緒に守っていきましょう。

本事業に関するお問い合わせ

魅力創造部
学び体験推進課
(担当: 麦田・沢田)

TEL : 0565-34-6660
MAIL : manabi@city.toyota.aichi.jp

NEW

新規掲載

豊田スタジアムの魅力向上事業

関連するSDGsゴール



豊田スタジアムでの観戦を、より楽しく、より快適に

事業背景・目的・目標

2001年の開業以来、豊田スタジアムでは、Jリーグやリーグワン、ラグビーワールドカップ、サッカー国際試合、ラリージャパン等、様々なスポーツイベントが開催され、多くの来訪者に感動を提供してきました。

こうした感動を、次の10年、20年先にも届け続けるため、より楽しく、より快適な観戦環境を提供できるよう、施設の機能向上に取り組めます。

主な取組内容

- (1) 豊田スタジアムの機能向上に資する備品等の購入(熱中症対策備品等)
- (2) 豊田スタジアムのアクセシビリティの向上(案内サインの多言語化等)



国内最大級の球技専用スタジアム「豊田スタジアム」

【事業担当者コメント】

豊田スタジアムは、本市のシンボル施設として、国内外から多くのお客様に来訪いただいています。こうした来訪者の満足度を高め、かけがえのない思い出をつくっていただくため、豊田スタジアムの施設価値を一層高めていきたいと考えています。是非、本事業への御協力をお願いします。

本事業に関するお問い合わせ

魅力創造部
スポーツ振興課
 (担当: 宇佐美・田中)

TEL : 0565-34-6632
 MAIL : sports-shisetsu@city.toyota.aichi.jp

トップスポーツチームと連携した地域まちづくり事業

トップスポーツチームと連携し、「スポーツのまち」豊田市をつくる

事業背景・目的・目標

豊田市では、本市と相互支援協定を締結している「名古屋グランパス」や「トヨタヴェルブリッツ」を始めとするトップスポーツチームと連携し、様々なまちづくり事業に取り組んでいます。

魅力溢れるトップスポーツチームと連携し様々な事業を推進することで「スポーツのまち」豊田市を目指しています。

主な取組内容

- (1) トップスポーツチームと連携し、豊田市の地域課題などの解決に向けて取り組みます。
- (2) チームを応援する気運醸成やチームと連携してイベントなどを実施します。
- (3) 市民の誰もがトップスポーツを観戦できる機会を創出します。

【事業担当者コメント】

「トップスポーツチームと一緒に考え、取り組んでいる事業です！」

トップスポーツチームが身近にあることは本市の魅力です。寄附でのご支援により、事業の推進、発展を後押ししていただくのはもちろん、寄付者の皆様からの、課題解決に向けた新たな視点・知見や、様々なご提案にも期待しています。ぜひ「スポーツ」を通じて豊田市とともに、地域まちづくりにチャレンジしませんか。

関連するSDGsゴール



ユニフォームに市のロゴが入っているトヨタヴェルブリッツ

本事業に関するお問い合わせ

魅力創造部
スポーツ振興課
 (担当: 藤村・大森)

TEL : 0565-34-6632
 MAIL : sports@city.toyota.aichi.jp

地域スポーツクラブによる地域スポーツ推進事業

地域でスポーツを楽しむ機会を創出する

事業背景・目的・目標

本事業は、地域スポーツクラブが担う地域スポーツの推進において、アスリートや専門家を派遣することで、様々な世代がスポーツに親しみ、スポーツを通じて楽しく健康で生き生きと活躍し、まちの活性化につながることを目的とします。

主な取組内容

- (1)小学生を対象とした「走り方教室」の実施
- (2)園児を対象とした「こどもの運動遊び教室」の実施
- (3)市内企業や大学等と連携したイベント事業及び各種教室事業の実施

【事業担当者コメント】

人生100年時代。健康寿命の延伸はもとより、全ての世代が生涯を通じて生き生きと輝ける社会の実現が望まれます。地域スポーツクラブは、そうした社会を実現していくための有効な役割を担うひとつです。オリンピックやパラリンピアンが多く在籍する市内企業・大学等と連携しながら、様々な世代がスポーツに親しみ、スポーツを通じて楽しく健康で生き生きと活躍できるまちを目指します。ぜひ、ご支援・ご協力をお願いします。

関連するSDGsゴール



陸上男子100mの元日本記録保持者、青戸慎司氏(中京大学)による小学校での「走り方教室」の様子

本事業に関するお問い合わせ

**魅力創造部
スポーツ振興課**
 (担当: 藤村・大森)

TEL : 0565-34-6632
 MAIL : sports@city.toyota.aichi.jp



関連するSDGsゴール



生き抜く力を育む学校教育の推進

ミライを担う次世代の「確かな学力」を育む

事業背景・目的・目標

少人数学級の実施やICT活用に取り組み、授業が分かり、学校に行くのが楽しいと思う子どもたちが増えることを目指します。児童生徒の学びや経験を深めることで、社会が激しく変化する中で能動的・主体的な力を発揮できる子どもたちの育成を目指します。

主な取組内容

- (1)市独自の少人数学級の実施、非常勤講師・補助員・非常勤養護教諭の配置等を行い、子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細かな教育を推進します。
- (2)ICT環境を整備するとともにICTを活用した授業づくりを行い、個別最適な学びと協働的な学びを推進します。



学習用タブレットの活用の様子

【事業担当者コメント】

教育を取り巻く社会状況が激変する中で、学校教育はこれまでにない変革の時を迎えています。この変革を、こどもたち一人ひとりの可能性を最大に引き出すこと、そしてこどもたちが自分と社会の明るい未来を切り拓くことにつなげていきたいと考えています。

教育のデジタルトランスフォーメーション及び一人ひとりに寄り添ったきめ細かな教育の推進は、変革の切り札です。こどもたちと共に未来の扉を開きます。

本事業に関するお問い合わせ

教育部
学校教育課
(担当:上坂)

TEL : 0565-34-6661
MAIL : gakkou_k@city.toyota.aichi.jp

NEW
 新規掲載

若者・子育て世代向けシティプロモーション事業 「とよた推し」拡大プロジェクト

とよたの魅力を発信し、地域の持続的な発展・成長を支える

事業背景・目的・目標

豊田市は、中核市幸福度ランキングでトップとなるなど、魅力あふれるまちであるにも関わらず、近年は人口減少が続いています。

本事業は、シティプロモーションの取組を通じて、まちの魅力に共感し、自ら周囲に推奨してくれる「とよた推し」の人を増やし、中長期的な「定住人口・関係人口・交流人口」の確保につなげます。まちの活力を高めるとともに、市内事業者の人材確保・定着等、まちの持続的な発展・成長に貢献することを目指します。

主な取組内容

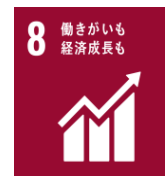
若者・子育て世代(主に18～39歳)をターゲットに、ライフステージに合わせた情報を、訴求力のあるメディアやブランドとのタイアップ、イベント等により発信します。
(ex 人気テレビ番組「シナぷしゅ」とのタイアップや、豊田市版「じゃらん」の発行等)

【事業担当者コメント】

「豊田市って、クルマ以外なにもない」---私たちは、決してそんなことはないと思っています。「暮らし・遊び」が充実していて「自分らしく一歩進める」、そんな豊田市の魅力を知らないまま、豊田市から離れる人を減らしたい。シティプロモーションの取組は、単にまちの認知度を高めるだけの情報発信ではなく、持続可能な地域のミライを実現するためのチャレンジです。

寄附によるご支援はもちろん、様々な発信媒体のシェアにもご協力いただけますと幸いです。ともに、豊田市の魅力を伝えていきませんか。

関連するSDGsゴール



人気テレビ番組「シナぷしゅ」とのタイアップ

本事業に関するお問い合わせ

魅力創造部
シティプロモーション課
 (担当:古田・志賀)

TEL : 0565-34-6758
 MAIL : promotion@city.toyota.aichi.jp

ものづくり創造拠点SENTANから生みだす オープンイノベーションとスタートアップ

ものづくりのまちの、新たなチャレンジを応援する

事業背景・目的・目標

本市の基幹産業である自動車産業を取り巻く環境は、急激に変化しています。
こうした時代の変化を生かして、新たなビジネスチャンスを創出することが求められており、市内の産業が更に深化していくためには、新たなチャレンジを強力に後押しすることが必要です。

主な取組内容

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| (1)新規事業創出プログラム「SPARK」 | (2)アクセラレータープログラム |
| (3)SENTANエコシステム構築 | (4)ものづくりミライ塾 |
| (5)次世代航空モビリティ産業振興 | (6)次世代航空モビリティ協業ネットワーク推進 |
| (7)DXモデル事例創出 | (8)ものづくり新事業展開補助金 など |

関連するSDGsゴール



画像提供：株式会社SkyDrive

【事業担当者コメント】

「ものづくり創造拠点SENTAN」では、市内企業の新事業展開やイノベーション創出支援、ものづくり人材育成のほか、空飛ぶクルマを開発する(株)SkyDriveなどのスタートアップを支援し、新産業の創出にも力を入れ、豊田市産業の持続的成長・発展を目指しています。

令和6年度から愛知県のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」に入居し、さらに取組を推進していきます。豊田市の産業が、これからも深化を続けるため、様々な面からご支援いただける事業者を募集しています。新たな事業、新たな産業を生みだすきっかけを、御社から!!!

本事業に関するお問い合わせ

産業部
次世代産業課
 (担当:上杉・太田)

TEL : 0565-47-1250
 MAIL : monozukuri-sozo@city.toyota.aichi.jp

豊田おいでんまつり開催事業

関連するSDGsゴール



世代を超えて楽しめる豊田市最大のまつりを、ミライへつなぐ

事業背景・目的・目標

市民が楽しみ、感動し、訪れる人を温かく迎え入れる「ふるさとのまつり」として、市民、事業者・団体、行政の共働の力で豊田おいでんまつりを開催します。

主な取組内容

- (1)「マイタウンおいでん」と「おいでん総踊り」で構成され、「おいでん」の曲に合わせて市民が一体となる「踊り」を開催します。
- (2)日本有数の花火師による芸術性の高い花火の打上げを行うとともに、「WE LOVE とよた」を合言葉に、市民が愛する花火大会を目指します。
- (3)すべての人が安全で安心して楽しめるための警備計画を作成し、関係機関と連携して警備を行います。



第56・57回豊田おいでんまつりの様子

【事業担当者コメント】

豊田おいでんまつりは、半世紀以上にわたり市民に親しまれてきた、豊田市を代表する一大イベントです。踊り連による「おいでん踊り」、夜空を彩る「花火大会」など、世代を超えて楽しめるこの祭りは、地域の文化と誇りを象徴する大切な財産となっています。近年、更なる安全性の確保と魅力向上を目的とした取組を強化しており、対策に必要な費用も増加傾向にあります。未来の子どもたちに“豊田のおいでん文化”を受け継いでいくため、皆さまのご支援が欠かせません。豊田市最大のまつりを、これからも地域の誇りとして守り、さらに発展させていくために、ぜひお力添えをお願いいたします。

本事業に関するお問い合わせ

産業部
産業振興課
(担当:小原)

TEL : 0565-34-6642
MAIL : sangyou-s@city.toyota.aichi.jp

J-クレジット新規方法論の実現に向けた AWD(間断かんがい)実証事業

新たな環境負荷低減策で、カーボンクレジット創出を実現する

事業背景・目的・目標

豊田市の農業をこれからも続けていくためには、環境に配慮した取組が欠かせません。その一つとして、温室効果ガスの削減量を「環境価値」として見える化し、将来的には企業間で取引できる“カーボンクレジット”の創出を目指しています。本事業では、その基盤となるJ-クレジットの新しい方法論化に挑戦します。

主な取組内容

豊田市とGreen Carbon株式会社が連携し、水田から出る温室効果ガスを採取・分析、地域や条件ごとの基準となるデータを2年分集めます。データを基に、J-クレジットの新規方法論として国に提案していきます。

【事業担当者コメント】

AWD実証事業は、将来のカーボンクレジットにつながる新しい仕組みづくりへの挑戦です。地域の農業を支えながら、環境にもきちんと向き合う——そんな当たり前を形にするための第一歩でもあります。この取組に共感し、共に歩んでくださる企業の存在が、未来の日本の農業を動かす原動力になります。豊田市と一緒に、「環境にやさしい農業」を広げていきませんか。

関連するSDGsゴール



カーボンクレジット創出のイメージ

本事業に関するお問い合わせ

産業部
農政企画課
(担当:岩月・鶴生)

TEL : 0565-34-6640
MAIL : nousei@city.toyota.aichi.jp

脱炭素プロジェクト

省エネ、創エネ、蓄エネで、脱炭素社会を実現する

事業背景・目的・目標

- (1)産業発展と両輪で、脱炭素社会の実現を目指します。
- (2)脱炭素社会実現に向け、再エネ、次世代自動車の普及を目指します。

主な取組内容

- (1)再エネ地産地消 (2)スマートハウス普及 (3)次世代自動車普及
- (4)環境学習施設eco-T (5)次世代自動車充電インフラ
- (6)新エネルギー活用促進補助金 (7)設備投資奨励金
- (8)脱炭素スクール (9)人工林健全化 (10)先進技術実証
- (11)水素導入普及促進

【事業担当者コメント】

脱炭素実現に向けた様々な政策を実施しています。産業、運輸、業務、家庭の脱炭素化支援と、森林吸収源の最大化、先進技術の開発支援など、豊田市の地域特性を踏まえた脱炭素化の取組を推進しています。

脱炭素化は行政だけで実現できるものではなく、市民、企業の皆さまと連携して取り組む必要があります。豊田市と共に、脱炭素社会実現に向けた取組みを実践し、発信しましょう！

関連するSDGsゴール



豊田市における脱炭素社会実現を目指した取組

本事業に関するお問い合わせ

環境部
環境政策課
 (担当:志村・山井)

TEL : 0565-34-6650
 MAIL : kansei@city.toyota.aichi.jp

森を未来につなぐプロジェクト

森を学ぶ × 森を考える × 森を活かす

事業背景・目的・目標

教育・普及啓発・流域材利活用の3本柱を通じて、子どもから企業まで森林の価値を理解し、考え、行動につながる社会の実現を目指します。

主な取組内容

- (1) 森と生活のつながりを学ぶ教育(矢作川流域学習)
小学校教材・校外学習等で、森と生活のつながりを体験し理解を深めます。
- (2) 森の大切さを考える普及啓発
とよた森づくり月間やとよた森林学校で、森林の価値を考えるきっかけを広く提供します。
- (3) 身近な資源を活かす流域材利活用
流域内の公共・地域施設での市産流域材利活用を推進します。
- (4) 間伐ボランティアの活動等の支援
森林整備に対する理解者・応援団を増やします。

【事業担当者コメント】

企業の皆さまのご支援により、子どもや市民の皆さまの森と関わる学びや体験が広がります。豊田市産材の利活用で、地域の森林資源を活かした具体的な活動も進められます。寄附は教育・普及啓発・流域材利活用の分野に活用し、森林と地域の未来に直接つながる取り組みを行います。

関連するSDGsゴール



森林の土を採取し観察する児童の様子

本事業に関するお問い合わせ

**産業部
森林課**
 (担当: 鈴木春・井貝)

TEL : 0565-62-0602
 MAIL : shinrin@city.toyota.aichi.jp

里モビLIFEプロジェクト

令和7年
地方創生担当大臣表彰受賞

関連するSDGsゴール



山里における自由・安全・安心な移動をつくる

事業背景・目的・目標

公共交通機関が限られた山里において、高齢者ができるだけ長く、自由に、安全に、安心に自らの意思で移動できる社会を実現します。このプロジェクトにより、ひとりひとりの生涯の生活の質を高め、持続可能な地域社会を目指します。

主な取組内容

- (1)車の運転に不安を抱えている方を対象に、山里で使いやすいよう工夫した超小型モビリティ「里モビ」をリースすることで、移動の支援に取り組みます。
- (2)「里モビ」に乗って出かけるツアー等を企画し、「移動できること」に加えて「でかけること」や「集まること」といったコミュニティの活性化に取り組みます。



超小型モビリティ「里モビ」

【事業担当者コメント】

里モビLIFEプロジェクトは、都市部のシェアリングサービスで使用されていた超小型モビリティを、山村地域での新たな交通手段として活用しています。

都市と山村をつなぎながら、高齢者の安全安心な移動と健康を守るこの取組は全国的にも珍しく、2025年には地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)に係る大臣表彰を受賞しました。

地域の笑顔と、安心して暮らせる持続可能な地域社会を、共に支えていただける事業者の皆様からのご支援を、お待ちしております。

本事業に関するお問い合わせ

企画政策部
未来都市推進課
(担当:大橋・柴田・小栗)

TEL : 0565-34-6982
MAIL : hybrid-city@city.toyota.aichi.jp

都市と山村の共生推進事業

「いなか」と「まち」が支えあって豊かになるミライをつくる

事業背景・目的・目標

企業・人・地域、それぞれが持つ強みやニーズを持ち寄り、「いなか」と「まち」が支えあって暮らしを楽しむことで豊かな社会の実現を目指します。

主な取組内容

- (1)山村地域の「移住・定住の促進」、「関係人口の創出」、「コミュニティ維持」に取り組む中間支援組織「とよたさんそんセンター」が、相談対応や交流のコーディネートを行うとともに、都市と山村の交流による地域活性化や集落機能の維持に向けた取組を進め、住み続けられる山村地域づくりを推進します。
- (2)「いなか暮らし総合窓口」を運営し、移住希望者へのプロモーションや、移住希望者の住まい・暮らし等に関する総合的な相談の受け入れを実施します。



企業研修を兼ねた地元地域との「耕隆ファーム」

関連するSDGsゴール



【事業担当者コメント】

豊田市は、都市部と山村部が共存する多様性豊かな都市です。都市と山村それぞれの特色を生かすことができる豊田市独自の山村振興を進める強みであり、これまで約300件の様々なマッチング・コーディネートを実現してきました。

寄附による活動のご支援だけでなく、実際にフィールドに入り、活動してくださる企業様も大歓迎です。ぜひ我々とともに、持続可能な地域づくりに向けたチャレンジに取り組みましょう！

本事業に関するお問い合わせ

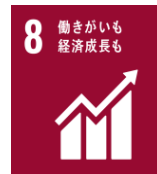
地域活躍部
総合山村室
(担当: 塚本・金川)

TEL : 0565-62-0610
MAIL : sanson@city.toyota.aichi.jp

NEW
 新規掲載

山里ひとなる塾事業

関連するSDGsゴール



都市部の住民が、山村地域で、これからの生き方について考える

事業背景・目的・目標

都市部の住民を対象に、山村地域での暮らしをヒントにこれからの生き方について考える講座です。全6回の集合講座に加え、年間を通して祭りや環境整備などの地域活動への参加を通じて、地域住民との顔の見える関係性を深め、継続的に山村地域に関わる人材の発掘・育成を目指します。

主な取組内容

(1)座学による講義(6回)

「自分を知る・地域を知る」「山と生きる」「農山村の祈り・まつり」「現代社会を知る」「お金との向き合いかた」「シアワセとは何か」

(2)集落の既存行事への参加(受入れ5集落から選択)

上八木町(足助)、東萩平町(旭)、中当町(稲武)、市場町(小原)、阿蔵町(下山)



総合講座「山と生きる」

【事業担当者コメント】

「山里ひとなる塾」の塾生の中には、山村地域の暮らしを知り、体験したことで、自身の価値観や考え方が変わり、関係人口や移住に結びついた例も多いです。豊田市の山村地域をフィールドに、地域にどっぷり浸かる生の経験、本気で地域と向き合う先輩との対話、仲間たちとの語り場を通して、これからの人生への向き合いかたを学びます。寄附による活動のご支援の他、是非、働かれています方へ受講の案内をお願いします。

本事業に関するお問い合わせ

地域活躍部
総合山村室
(担当:塚本・江崎)

TEL : 0565-62-0610
MAIL : sanson@city.toyota.aichi.jp

香嵐溪100年プロジェクト事業

紅葉の名所「香嵐溪」をミライに引き継ぐ

事業背景・目的・目標

香嵐溪が整備後100年を迎えるにあたり、生育環境の悪化や樹勢の低下が懸念されています。そこで、「もみじ」の景観の質の維持・向上を図るとともに、100年先まで地域資源のひとつとして継承されるための仕組み作りを目指しています。

主な取組内容

- (1) 樹木整備、散策路や休憩施設等のハード整備を行います。
- (2) ハードの利活用、里親募集等の資金調達及び関係人口の増加に向けた取組み、住民主体のソフト事業等を行います。
- (3) 行政、住民の協働による樹木、林床の維持管理を行います。



東海地方屈指の紅葉の名所「香嵐溪」

【事業担当者コメント】

香嵐溪は、11月のもみじまつり期間にはおよそ45万人の観光客が訪れますが、もみじの老木化、担い手不足など、様々な課題を抱えています。

寄附による活動のご支援だけでなく、プロジェクトへの参加も大歓迎です。紅葉の名所である香嵐溪に関わっていただける方をお待ちしています。

関連するSDGsゴール



本事業に関するお問い合わせ

**地域活躍部
足助支所**
(担当: 加藤・内山)

TEL : 0565-62-0601
MAIL : asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp



「旭高原元気村」活性化プロジェクト

旭高原の豊かな自然のなかで、最高のアウトドア体験を実現する

事業背景・目的・目標

旭地区を象徴する観光スポットのひとつである「旭高原元気村」では、キャンプやバーベキューを自然の中で楽しめる施設です。冬には雪そり専用ゲレンデを運用し、年間を通じて地域内外からの観光・交流を生み出す拠点として施設の活性化をしていきます。また「旭高原元気村」を起点に旭地域全体を盛り上げる取組を検討します。

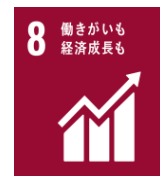
主な取組内容

- (1)整備から年数を経て劣化した施設の修繕
- (2)雪そりゲレンデの運用に必要な圧雪車の更新
- (3)旭高原魅力発信事業の実施

【事業担当者コメント】

昭和29年に村営の牧場としてスタートした旭高原は、時代とともに姿を変えながら、住民はもとより地域外の人々からも親しまれてきました。高原ならではの見晴らしや満天の星空のもと、年間を通じてキャンプやバーベキューが楽しめるほか、冬の雪そり滑りには、たくさんのお子様連れがいらっやいます。過年度はキャンプの水回り施設やスノーマシン(造雪機)をリニューアルしました。より快適に楽しんでいただける施設に向けて、ぜひお力添えをお願いします。

関連するSDGsゴール



旭高原元気村 多目的広場・野外ステージ
(※整備か所ではありません)

本事業に関するお問い合わせ

地域活躍部
旭支所

(担当:安藤・中村)

TEL : 0565-68-2211
MAIL : asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp

NEW

新規掲載

とよた地域共生ミライフォーラム2026開催事業

関連するSDGsゴール



12・5(土)開催！全国サミットでの学びを次のステージへ

事業背景・目的・目標

豊田市では、既存の関係性や分野の壁を超え、多様な主体が連携し合いながら、「一人ひとりのウェルビーイング」と「地域共生社会の実現」を進めています。

2023年に約2,000人が参加した「地域共生社会推進全国サミットinとよた」。ここでの学びを一過性で終わらせず、次なるステージへ繋げるため、新たな全国向けイベントとして、「とよた地域共生ミライフォーラム2026」を豊田市独自で開催します。



主な取組内容

- (1) 豊田市の実践者や有識者等によるシンポジウム・テーマ別分科会の開催
- (2) 地域共生社会関連で連携事業を実施している中学、高校、大学の学生発表
- (3) 最前線で活躍する若手医療・介護・福祉職のプレゼン大会
- (4) 豊田市の公民連携の取組や、地元の名産物などを紹介するブースコーナー

寄付いただいた
企業名などを
イベント内で
掲示いたします



「地域共生社会推進全国サミットinとよた」の様子

【事業担当者コメント】

豊田市では、全国の中でも先駆的に、市民・民間企業・行政などが連携し、誰もが安心して自分らしく暮らすことができる「地域共生社会」の実現に向けた取組を推進しています。

本事業では、様々な分野の最前線で活躍する「人」に光を当て、勇気づけられる関係のある地域ネットワークを形成し、現場の誇りとモチベーションを最大化させる機会にしていきます。ぜひ、ご支援・ご協力をお願いします！

本事業に関するお問い合わせ

福祉部
よりそい支援課
 (担当:安藤・福山)

TEL : 0565-34-6791
 MAIL : yorisoi@city.toyota.aichi.jp

おいでんバス乗り放題！「おでかけパス70」推進事業

高齢者の生きがいや健康づくりを応援する

事業背景・目的・目標

おでかけパス70は、豊田市在住で70歳以上の方ならどなたでも購入できます。中心市街地から山間部までを繋ぐ、おいでんバス全12路線が定額で乗り放題となります。おでかけパスの利用により、高齢者の外出する機会を増やし、生きがいや健康づくりの促進を目指します。また、車に乗らなくても生活できる環境づくりを推進することで、高齢者のバス利用を促進し、交通事故の減少を目指します。

主な取組内容

- (1) おでかけパス70の販売(1か月券:3,000円、2か月券:5,500円、3か月:8,000円)
- (2) おでかけパス70の販売促進(運転免許証更新時のチラシ配布など)や、おいでんバスの乗り方教室(出前講座)を開催しています。

【事業担当者コメント】

高齢者の生きがいや健康づくりを応援するため、70歳以上の市民を対象に、おいでんバスの定額乗り放題を実施しています。バスに乗ることは、意外にも歩くことにもつながっており、健康の増進が期待できるほか、人との交流機会が増えることにより、生きがいづくりの促進にも寄与しています。また、高齢者が安心してバスを利用できるようになれば、運転免許証の返納を後押しすることができ、結果的に高齢者の交通事故の抑制に繋がります。ぜひ御支援をお願いします。

関連するSDGsゴール



とよたおいでんバス

本事業に関するお問い合わせ

都市整備部
交通政策課
(担当:鈴木・目崎)

TEL : 0565-34-6603
MAIL : koutsu@city.toyota.aichi.jp

障がい理解と意思疎通の推進事業

誰もが自分の意思を伝え合える豊田市を目指す

事業背景・目的・目標

誰もが安心して自分らしく生きられる社会(地域共生社会)の実現を目的とし、障がい者など配慮を必要とする人への理解を深め、お互いに意思を伝え合える豊田市を目指します。(豊田市は、障がいの特性、言語、文化等のちがいから生じる隔たりの解消を図っていくために、令和3年4月に「相互理解と意思疎通に関する条例」を制定しています。)

主な取組内容

- (1)心のバリアフリー推進講座を開催し、障がいに関する理解促進に取り組みます。
- (2)手話通訳、音訳・点訳等に親しむ機会を創出し、意思疎通の人づくりに取り組みます。
- (3)コミュニケーション支援ボードやICT機器を活用し、意思疎通の環境整備に取り組みます。

【事業担当者コメント】

障がいがある人もない人も分け隔てなく、誰もが安心して自分らしく生きられる社会の実現に向けて、全市を挙げて取り組んでいます。お互いのちがいを認め合い、一人ひとりがどんな配慮ができるかを考え、行動することで、多くの笑顔が生まれると思います。

「誰一人取り残さずに情報を伝える豊田市」、「配慮を必要とする人も自分の意思を伝えられる豊田市」を目指し、取組を進めていきます。ご支援いただける事業者様を募集しています。

関連するSDGsゴール



市民向け手話教室



市民向け点字教室

本事業に関するお問い合わせ

福祉部
障がい福祉課
 (担当:加藤・齋藤)

TEL : 0565-34-6751
 MAIL : shougai_hu@city.toyota.aichi.jp

多様な方の社会参加を応援するプロジェクト



認知症や障がいなどがあっても社会で役割があり続けるために

事業背景・目的・目標

私たちが自分らしく暮らすためには、様々な形で社会に役割があり、参加し続けることが大切です。認知症や高齢になっても、障がいがあっても、みんな同じです。

そのため、このプロジェクトでは、コーディネーターの支援のもと、市内の福祉事業所や企業、農家などが居場所や作業等の機会を提供するなどを通じて、認知症や障がい、不登校、生活困窮等の様々な方々が役割を担い、自分らしく社会に参加することを応援しています。

主な取組内容

- (1) 市民の方からの相談を受け、その方の特性等に応じた必要な支援と併せて、プロジェクト会員の事業所が提供できる場所や活動を社会参加の機会として、提供します。
- (2) 若年性認知症などの方と事業所の「はたらく場」が上手くつながるように、仕事の切り分けや作業補助具の提案、その方の特性を知るなどの事業所側へのお手伝いを行います。

【事業担当者コメント】

分野を超えた多様なヨコ連携により運営される『とよた多世代参加支援プロジェクト』は、事業者同士の交流・情報交換も盛んに行われ、楽しく活動しています。寄付によるご支援だけでなく、会員となってプロジェクトに参加していただける事業者也大歓迎です。ぜひ、ご協力をお願いします！

関連するSDGsゴール



福祉事業所合同で地域の仕事(地域の困りごと)に取り組む様子

本事業に関するお問い合わせ

福祉部 よりそい支援課 (担当: 安藤・内藤)
 TEL : 0565-34-6791
 MAIL : yorisoi@city.toyota.aichi.jp

(認知症の方の社会参加に関すること)
 福祉部 高齢福祉課 (認知症・包括担当)
 TEL : 0565-34-6984
 MAIL : korei-fukushi@city.toyota.aichi.jp

歴史文化資源をリブランディング！ 豊田市の魅力を活かした新たな観光コンテンツ創出事業

山城等の魅力ある歴史文化資源の価値を再構築し
幅広い世代が楽しめる観光コンテンツ等を創出する

事業背景・目的・目標

豊田市には、山城をはじめ、地域で古くから守られ、育まれてきた歴史文化資源が多く点在しています。こうした資源を維持・磨き上げるとともに、新たな魅力を再認識し、認知を広めることで、価値の再構築を図っていきます。

豊田市ならではの観光コンテンツを創出し、市内外からの集客を目指します。

主な取組内容

- (1)山城を中心とした歴史文化を活かしたイベント等を実施します。
- (2)歴史文化の価値を再構築し、新たなファンを惹きつける取組や情報発信を実施します。
- (3)観光客を受け入れるための環境整備等を実施します。

【事業担当者コメント】

豊田市には松平氏遺跡(国指定史跡)を構成する大給城をはじめ、100以上の山城が点在していることをご存じですか？

今後、こうした歴史文化資源を活用し、地域の垣根を超えた全市的な誘客や周辺環境整備などを推進していきたいと考えています。寄附での御支援により、豊田市ならではの観光コンテンツの創出やプロモーションなどの後押しをしていただきたいと思います。御協力をよろしくお願いいたします。

関連するSDGsゴール



真弓山(標高301m)に位置する足助城

本事業に関するお問い合わせ

魅力創造部
シティプロモーション課
 (担当:小柴・宮地)

TEL : 0565-34-6758
 MAIL : promotion@city.toyota.aichi.jp

100年に1度の^{よみがえ}大修理で甦る!! 重要文化財 旧鈴木家住宅復活プロジェクト

時を経てもなお、多世代で集える重要文化財の活用を目指す

事業背景・目的・目標

歴史ある足助の町並みの中心部に位置し、かつて足助一の商家として栄えた「紙屋」鈴木家。その鈴木家が暮らした江戸時代から明治時代にかけて建造された16棟もの建物は、平成25年に国の重要文化財に指定されました。現在は、この文化的価値の高い建物を日本の未来に伝えていくための保存修理工事を進めています。

主な取組内容

- (1) こどもたちに質の高い教育環境を提供するための、施設整備に取り組めます。
- (2) 足助の町並みをより魅力あるまちにしていけるための、空間づくりに取り組めます。
- (3) 文化財の活用に新たな活路を見出すための挑戦に、皆さんと共に取り組めます。



旧鈴木家住宅の活用「align-時代をつなぎ未来へむすぶ」(令和5年11月)

【事業担当者コメント】

近年、文化財の活用は内閣府や文化庁などの組織をはじめ、国を挙げて取り組むべきものとして、試行錯誤が行われています。放っておけば、失われし文化財建造物ですが、きちんと修理し環境整備を行い、未来を担うこどもたちに日本や地域の歴史を学ぶ機会を提供して、地域への理解・愛着を醸成して住み続けられるまちづくりを目指します。ぜひ豊田市と共働して、これまでにない国指定重要文化財の活用事例を一緒に作りあげていきましょう!!

関連するSDGsゴール



本事業に関するお問い合わせ

美術・博物部
文化財課 足助分室
(担当: 中野・安江)

TEL : 0565-62-0609
MAIL : bunkazai-asukebunshitsu@city.toyota.aichi.jp

共働によるまちづくり！市民活動促進事業

関連するSDGsゴール



より良い社会を目指す市民活動の担い手を応援する

事業背景・目的・目標

豊田市では多くの市民活動団体が多様な主体とつながり合いながら活躍しています。そのような市民活動の担い手がより増えること、また、市民活動団体の活躍の場がより拡充され、発展していくことで、「共働によるまちづくり」を目指しています。

主な取組内容

- (1)とよた市民活動センターがより使いやすく、より多様な主体がつながり合うことができるよう、環境整備に取り組みます。
- (2)多様な主体がつながり合うことができるような仕組みづくりに取り組みます。
- (3)特に若い世代に注目し、活動のきっかけが持てるような仕掛けを創出します。



青少年育成・多文化共生活動



環境保全活動



保健・医療・福祉の増進活動



青少年育成・防災活動

【事業担当者コメント】

豊田市の「共働」は多様な主体それぞれの活動を認め合い、共により良い社会を目指すという思いが込められています。とよた市民活動センターはその「共働」の拠点施設です。社会貢献活動として何かしたいと考えている企業の皆様の思いを形にするお手伝いもしています。わたしたちと一緒に、豊田市の「共働によるまちづくり」にチャレンジしませんか。

本事業に関するお問い合わせ

地域活躍部 地域交流課
 とよた市民活動センター
 （担当：大野・金原）

TEL : 0565-36-1730
 MAIL : tec@city.toyota.aichi.jp

つながる つくる 暮らし楽しむまち



豊田市

Toyota City

【担当】魅力創造部シティプロモーション課

電 話:0565-34-6758

メール:furusato@city.toyota.aichi.jp